

- 旧setupの解体
  - SBT下流のダクトをはずす。
  - KDCをはずしてダクトをつける。
  - BDC2下流GVをつける。
  - BDC2箱下流面を架台下流面にあわせる
    - 冷凍機と架台を最大限離す為。
  - samurai真空箱リークポートをはずす
    - ポートはアルミフイルドでまいただけ。
  - 架台への signal/HV/LAN/AC/rotary AC cable、ガスパイプを全てはずす。
  - FDC1用rotary(x2)、ポンベの移動。

- 
- BDC架台をだいたい所定の場所に置いて、様子を見る。
  - 確認事項
    - BDC2箱下流面ー現在ついている真空箱入り口フランジ上流面 = 373mm
    - (図中の大きなフランジが理解できない為) で間違ってますか？
  - 以下写真

- フランジー-BDC2間= 372mmの時

西側



上流から



東側



list1

- 架台とサムライダクト、field cramp

list1

BDC2-GV, 入口フランジ



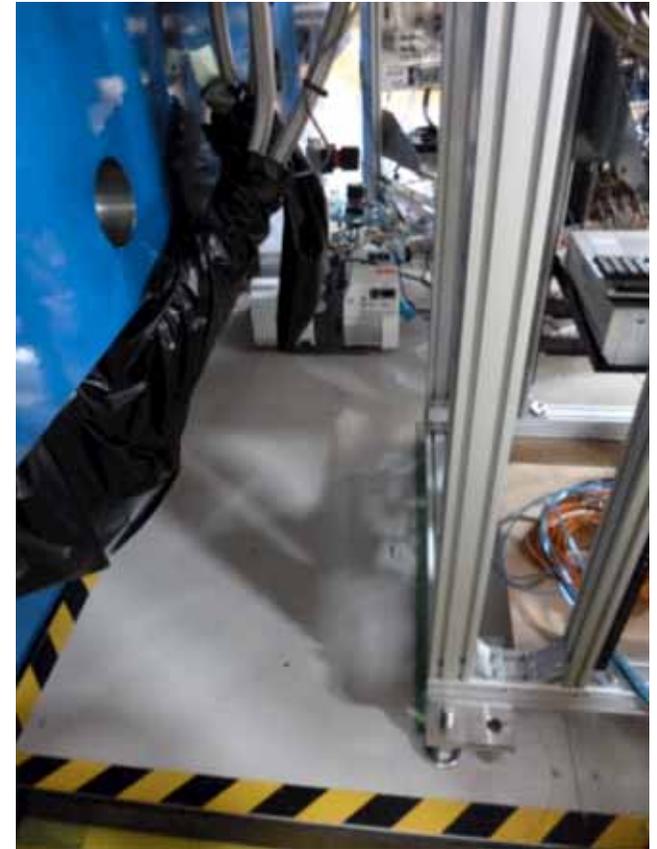
field cramp-架台  
~346 mm ?

冷凍機頭、架台



冷凍機頭-架台  
~46 mm  
noise ?

床面



隙間、アクセスはある

## • cable等

list1



- 床Patch panel - 架台patch panel
  - BNC-BNC 4m x32
    - 今のままだと届かない
    - 架台patch panelの位置を下流側へ移動
      - かりうじてOK
      - 延長の必要無し
  - SHV from B3F x8、AC power cable
    - 余裕あり
- 架台 ~ SBT
  - 要延長
    - BNC x4, SHV x4
    - booster x4set： 方法を考える

- だいたいのscheduleを教えてください。
  - TPCの上流からの測量、設置作業が終わり、BDC架台を設置できる位置
  - STQ移動時期
    - その後で、架台～SBTの接続
  - (2月は学期末行事、入試があるので若干窮屈)